

Part-3 交流ガイド



1…体験学習施設の紹介

2…交流プログラムの紹介

3…インターネットによる
プログラムの紹介

交流事業の紹介

古代出雲歴史博物館では、児童・生徒が島根の歴史について興味・関心を一層高められるような施設をはじめ、さまざまな交流プログラムや歴史学習教材を準備しています。ぜひご利用ください。

〈問い合わせ・申し込み窓口〉 電話 0853-53-8600 / FAX 0853-53-5350
ホームページ <http://www.izm.ed.jp/>

Part 3 1 体験学習施設の紹介

1 講義室

当館の企画によって開催する講演会やゼミナールの会場のほか、団体で利用される場合には、館内の施設や展示についてのガイド、ならびにミュージアム・スクールの会場にもなります。また、昼食休憩などにも利用できます。100名程度収容可能。

2 インフォメーションセンター(情報交流室)

展示資料や所蔵資料をパソコンで検索・閲覧できるほか、島根の遺跡・文化財についても検索・閲覧が可能です。また、県内の博物館・資料館の情報収集や歴史に関する図書の閲覧もできます。さらに、学芸員やアテンダント(案内係)によるレファレンス(照会)サービスも行います。

3 体験工房

ミュージアム・スクールの主会場であり、^{まがたま}勾玉づくりや土器づくり、染織体験など、楽しく体験活動ができる施設です。展示室の見学とあわせてご利用ください。なお、ミュージアム・スクールについては次ページをご覧ください。40名程度収容可能。



4 体験広場

体験工房と体験水田の間にある広場です。火起こし体験や昔の遊びなど、屋内では難しい活動に使用できます。体験工房の軒下では神楽などの民俗芸能を上演したりもします。また、昼食休憩にも利用できます。

5 体験水田

稲作の歴史について、実際に稲を栽培しながら学びます。赤米などの、原始・古代以来の「古代米」とされる品種を選び、弥生時代の復元農具や、江戸時代以来の農具・農法を用いながら、伝統的な米づくりを体験できます。



Part 3 2 交流プログラムの紹介(児童・生徒・教員向け)

ここでは、学校教育活動との連携にかかわるプログラムを紹介します。なお、これ以外にも児童・生徒個人やグループを対象にしたプログラムのほか、親子を対象にしたプログラムなども実施します。

1 展示ガイド(概要説明(15~20分)+展示見学(40~60分程度))

入館していただいたら、まずは講義室か体験工房にご案内します。そこで、プロジェクターなどを用いながら館内の施設および展示の概要説明を行います。その後で展示室の見学になりますが、事前の説明があることで、より期待感を持って見てもらうことができますし、またワークシート(Part-6資料編 ~4.展示見学のワークシート集~)などもお配りしますので、ポイントを見逃すこともなくなります。

なお、事前に申し込みが必要ですので、詳しくは、「Part-6資料編 ~3.歴博利用の各種申し込み方法~」をご覧ください。

2 ミュージアム・スクール

体験工房か講義室を主会場に、展示室見学もおり交ぜながら、先生方と共同で授業を行います。授業内容は、担当の先生と相談して決定しますが、「Part-4 学習指導案・活用例」に授業例を載せていますので、参考にしてください。

なお、年間20校程度の予定のため、事前に申し込みが必要です。また、体験学習によっては、材料費をいただくものもあります。詳しくは、「Part-6資料編 ~3.歴博利用の各種申し込み方法~」やホームページをご覧ください。



① 講義室コース〔定員80名〕……講義室での歴史講話(30~50分)+展示見学(40~60分程度)

② 体験工房コース〔定員40名〕…体験工房での体験学習(45~120分)+展示見学(40~60分程度)

【体験学習の主な内容】(※時間はおよその目安です。Ⓜは材料費が必要です。)

- ◎火起こし(45分) ◎プラスチック製銅鐸どうたくづくり(45分・Ⓜ) ◎土偶・埴輪どくう はにわづくり(60分・Ⓜ)
- ◎大仏パネル組立(90分) ◎^{まがたま}勾玉づくり(90分・Ⓜ) ◎^{ろう どうきつ}蠟製銅鏡づくり(90分・Ⓜ)
- ◎^{つちふえ}土笛づくり(90分・Ⓜ) ◎^{あいそめ}藍染体験(120分・Ⓜ) ◎縄文風ドングリ料理(120分・Ⓜ)
- ◎土器づくり(120分+焼成は別途相談・Ⓜ) など

3 出前授業(心に残る文化財子ども塾)

歴博の学芸員や埋蔵文化財調査センター職員、古代文化センター職員が県内の学校に出かけて、先生方と共同で授業を行います。授業内容は、担当の先生と相談して決定しますが、実物資料や体験学習教材を使いながら授業を行います。年間25校程度を予定しており、毎年4月に島根県教育庁埋蔵文化財調査センターが「心に残る文化財子ども塾」として募集します。



4 教員のための文化財活用講座

先生方を対象に、歴博の利用方法や体験学習用教材の取り扱い、文化財の見方など、授業に役立ててもらうための講座を開催します。夏季休業中に実施する予定です。

なお、体験学習用教材については「Part-6資料編 ～5.歴史学習教材の紹介～」をご覧ください。

Part 3 インターネットによるプログラムの紹介

ここでは、情報システムを利用した学習支援プログラムを紹介します。
なお、ホームページは、 <http://www.izm.ed.jp/> です。

1 ガイドシートの作成

(1) 内容

歴博を訪れる前に、館内の展示品について、見たいものを選んで、自分だけのオリジナル・ガイドシートを作成することができます。歴博があらかじめ用意したガイドシートを利用していただいても構いません。また、歴博周辺や県内の遺跡・史跡など、館外のガイドシートを作成することもできます。

(2) 使い方

- 1) 歴博ホームページの「先生と生徒のページ」をクリックし、画面にしたがって進み、「マイページ会員に登録する」から、会員登録をします(無料)。
- 2) 画面にしたがって、自分が興味・関心のある展示品を選択してオリジナルのガイドシートを作成します。
- 3) 完成したガイドシートを印刷して、歴博での見学に利用します。印刷されたガイドシート(以下「印刷シート」)には、気づいたことや感想などを記入する欄もあります。また、館内で貸し出すプレイステーションポータブル(PSP)でも自分が作成したガイドシートを見ることができます。
- 4) 見学後は、学校のパソコンから歴博ホームページにアクセスし、各自が見学した展示品の一覧を確認できます。また、各自が印刷シートに手書きしていたメモや感想を、Web上のガイドシートに再入力することにより、保存しておくことも可能です。

2 地理情報システムを利用した学習

航空写真と地図を利用する

(1) 内容

鳥根県内全域の航空写真と地図を使ったシステムで、学校周辺の様子を空から眺めたり、文化財や遺跡の位置などを確認したり、同じ場所の現在の地図と昔の地図を比べて変化を確認することができるシステムです。

(2) 使い方

- 1) 歴博ホームページの「歴博への空の旅」をクリックします。
- 2) 歴博上空からの航空写真画面が表示されます。
- 3) 歴博が用意した「遺跡マップ」「文化財マップ」「今の地図」「昔の地図」などで、学校周辺の遺跡や文化財、地形や市街地の変化などを空から見て回ることができます。

地図を作る

(1) 内容

航空写真や地図または白地図に、自分が選んだスポット情報を入れてオリジナルの地図を作成するシステムです。学校周辺の遺跡マップ作りや、歴史マップ作り、校区の紹介マップなど、多方面に活用できます。

(2) 使い方

- 1) 歴博ホームページの「先生と生徒のページ」をクリックし、画面にしたがって進み、「マイページ会員に登録する」から、会員登録をします(無料)。
- 2) 会員ログイン後、Webキュレーターへの申し込みをします(無料)。
- 3) 「オリジナルマップを作る」の「スポット情報を投稿する」メニューから入ります。
- 4) 航空写真や地図上の該当地点に必要な情報を貼りつけて、オリジナル地図を作成します。

3 学芸員に質問する

(1) 内容

子どもたちの疑問や質問に歴博の学芸員が直接答えます。

(2) 使い方

- 1) 歴博ホームページの「先生と生徒のページ」をクリックします。
 - 2) 「お問い合わせ」のページで、疑問や質問を記入します。
 - 3) 折り返し、歴博から担当学芸員が電子メールにて回答します。
- ※なお、よくある質問や疑問については、ホームページでも公開します。

4 教員専用の掲示板

(1) 内容

教員同士が情報交換できる、教員専用の電子掲示板です。話題ごとに議論を分けることができ、あるアイデア(歴史教材のアイデア、歴博の使い方など)に対する簡易投票の機能も備えています。

(2) 使い方

- 1) 歴博ホームページの「先生と生徒のページ」をクリックし、画面にしたがって進み、「マイページ会員に登録する」から、会員登録をします(無料)。
 - 2) 会員ログイン後、「MY COMMUNITY」のページに入ると、歴博が用意したテーマごとにコミュニティがあります。
 - 3) テーマごとのコミュニティにおいて情報交換をすることができます。また、新たにコミュニティを作ることもできます。
- ※なお、一般の方が参加する電子掲示板もあります。